



社団法人

海外と文化を交流する会

(社) 海外と文化を交流する会会報

2006年1月発行(3ヵ月1回発行)

第29号

”知と心”の繋がりに文化の原点を求めて

日本を理解し日本で学ぶ留学生への支援 貧しい国々での医療活動を支援 各国大使館との協力などによる文化講演会の主催

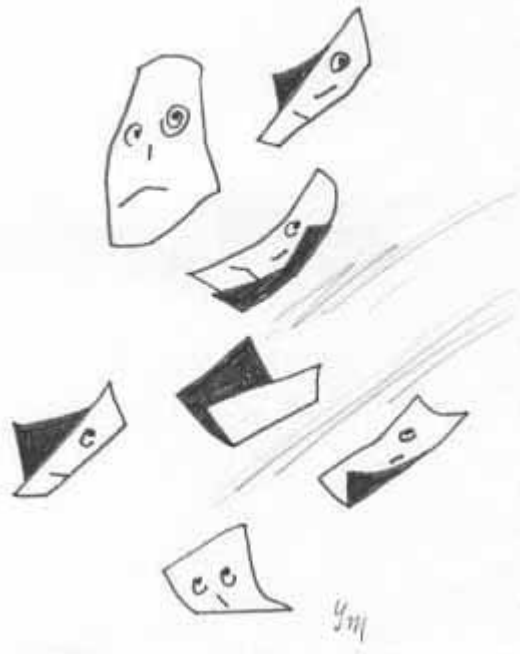
巻頭詩

すてごのめ

まど・みちお (詩人・児童文学者)

まど・みちお：明治42年山口県生まれ。台北工業卒。国際的な評価も高く、「アンデルセン賞」その他数多くの賞を受賞。著書に「ぞうさん」(ぞうさん ぞうさん お鼻が長いね.....)や、「まど・みちお詩集」「宇宙のうた」ほか多数。動物に関する詩20編は美智子皇后が英訳するなどで、話題になりました。掲載の詩は、作者の快諾を得て転載しています。

いんさつ された
オレのシを みていて
おどろきいる
シのほうが
ぎやくに
オレを
みつめているのだ
あなたの おかげで
こんなはずかしいおもいを
しています！
と なんともうらめしげな
すてごの めで・・・



まど・みちお「たっただ」理論社より カット/松岡裕子

05.12中野振一郎チャリティコンサート感想

記憶に残る一夜

寺田美葵子（海外と文化を交流する会会員）

12月9日、霊南坂教会での「海外と文化を交流する会」のチャリティー・コンサートは、ウエルカム・オルガンのオープニングでおだやかに始まりました。

階段ステージに置かれたチェンバロの、開かれた蓋裏に描かれた美しい絵が、人々の目を惹きつけ、何かを待ち望む気配に誘い込まれます。

やがて登場された中野振一郎氏は、バロック時代、ヨーロッパ貴族たちのサロンで奏でられたチェンバロの歴史や、時代背景、各国での呼び名の違い（英語ではハーブシコード etc.）楽器の構造、音の変化の美しさ、楽しさなどの解説を、独特のやわらかい京都言葉でのお話と演奏とで進められ、当時の貴族社会の華やかな雰囲気をおだやかに垣間みせてくださいました。

休憩時間には、何十人もの方々が階段を上ってステージに集まり、チェンバロを囲んで興味深く眺めておられたのも、とても自然な運びでした。また、併せて準備されたバザーには、手作りの品々を中心にインドのカレー粉・紅茶・サフラン、ドイツのミニチュアなども含まれており、この会の特色が表れていてとても好評のようでした。

後半はヴァイオリンと共に、ヘンデルとバッハが深い味わいで演奏され、しめくくりには、全員で“あら野のはてに”を合唱。余韻を残してコンサートは終わりました。

何かを待ち望み、深く感じ、そして満たされるという豊かな思いが胸の内に広がり、気がつくところの方々からも、笑顔と優しい気持が外に向かってこぼれ出ているように感じられました。

クリスマスをひかえたこの時期に、誠にふさわしい得がたい想いとして、記憶に残る一夜でした。

演奏会をお聴きして

岡田岳郎（室井鐵衛会長の教え子）

12月9日（金）のコンサートをお聞きしました。中野さんの「ゴルトベルク変奏曲」を以前近くの図書館で借りることができ、とても感動したことを覚えています。

中野さんの演奏を直接、演奏をお聞きすることは初めてでワクワクしておりました。

時期的にチェンバロ（バロック音楽）を聴くにはとてもいい季節ではなかったかと思えます。

当日の会場が教会なので反響しすぎるのではと思いましたが……無駄な心配でした。

まず、チェンバロの音が会場にとってもマッチしていたこと。非常に、クリアな音色だったと思えます。

選曲も無理が無く聞きやすかったこと。前半は、ソロ。後半は、デュエットと短い時間でし

たが堪能できました。欲を言えば、ソレル、スカララッティのものをもう少しお聞きしたかったです。

今回は、是非同じ会場で「ゴルトベルク変奏曲」全曲演奏をお聞きしたいと思いました。

また、特に、中野さんのトークが分かりやすくお越しのなった方もとても楽しかったのではないかと思います。

会の第1印象は、女性が多いなあと思いました。

バザーもこのような形で行うことはこの会の主張も反映していてとてもいいことと思いました。欲を言えばもう少し、出店があればと思いました。

今回は、室井先生の紹介でお手伝いをするようになっていましたが、先生の送り迎えに終始させていただきました。次回は、ぜひ手伝いをさせてください。室井先生もぜひ、とお話がありました。

会の詳しい内容等をお聞かせいただけますでしょうか？ 宜しくお願いします。手続きが必要であれば資料等をお送りいただければ幸いです。

この度は、祝福の時間をありがとうございました。

お礼の電話

下村とし子（海外と文化を交流する会会員）

私がお声を掛けた皆様から「声を掛けてもらって本当に良かった。素晴らしかった！」とお礼の電話が沢山寄せられています。

ありがとうございました。

ヴェルサイユ宮殿のサロン.....

角谷雅代（海外と文化を交流する会会員）

中野振一郎氏の演奏を拝聴いたしまして、まるでヴェルサイユ宮殿のサロンにいるような...そんな優雅な時間を過ごすことができました。お話もとても楽しく素敵な夜でした。ありがとうございました。

会からの報告 & お知らせ & お願い

来春には「チェロとパイプオルガンの響き」

2006年4月28日にコンサートを予定しています。人気急上昇のチェリスト水谷川優子さんと、パイプオルガニスト関本恵美子さんのたのしいコンサート。会場は東京・赤坂・霊南坂教会を予定しています。詳細は後日お知らせします。どうぞお楽しみに。

なお、このコンサートは、後述する「日本画プロジェクト」のためにぜひとも成功させたいと願っています。皆さまの絶大なるご支援ご協力をいただけたら幸いです。

日本画プロジェクト

いまから 30 年ほどまえ、「社団法人・海外と文化を交流する会」は、奥村土牛・片岡球子・上村松篁・橋本明治ほか当代一流の 25 作品を、オーストラリアと親交を深められたら、という願いをこめて、寄贈しました。その後もニュージーランドに同様に 16 点を寄贈、海外と文化を交流する会の注目される活動のひとつです。

2006 年、日豪交流年になります。そこで、かつて寄贈した現代日本画 25 点を記念展として開催することになりました。ふだんは保管してあるので、なかなか目に触れることはありません。本格的に決まり次第、ご報告します。豪州メルボルンへおいでのときに、ご覧くださればと思います。

寄付をいただきました

次の方々から当会へ寄付をいただきました。ありがとうございました。有意義に遣わせていただきます。

成毛典子さま

渡辺いつ子さま

会費納入のお願い

2006 年度の年会費納入さらに 2004 年度 2005 年度の年会費未納の方は、ぜひともご納入ください。高く評価されている当会の活動は、皆さまのご支援あってこそなのです。

郵便振替 00130-2-366249 社団法人海外と文化を交流する会

銀行振込 東京三菱銀行渋谷支店 (普) 2266599 海外と文化を交流する会

会費 10,000 円 (正会員) 5,000 円 (特別賛助会員) 3,000 円 (学生会員)

海外と文化を交流する会事務局

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-27-6 パイビル内

TEL&FAX 03-3370-7654 e-mail:jimukyoku@kaigai-bunka.org

<http://www.kaigai-bunka.org>